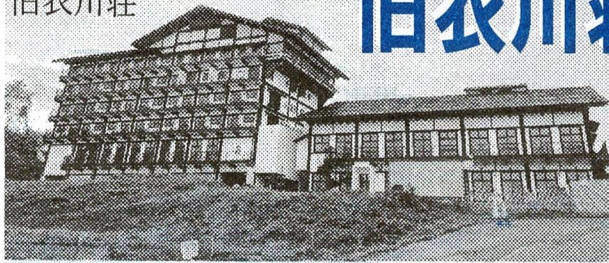


決算審査特別委員会 商工部問

旧衣川荘



旧衣川荘の新装オープンはいっ?

菅原明議員は、旧衣川荘が令和6年度に営業開始を前提に無償譲渡されたにもかかわらず、今なお修繕工事が行われていないことについて質し、その状況を地域住民に知らせる工夫が必要でないかと提案しました。

担当者、物価高騰などで修繕が進まなかったため、来年遅くとも5月のゴールデンウィーク前までにはオープンをしたいということ。2月には予約(宿泊)等もとっていく段取りと伺っている。地域住民の皆さんには、今年3月内覧会を行っており、オープンに向けて皆さんにお知らせするような行事を

千葉敦議員は、①令和5年度に実施された、コロナ対策・物価高騰対策の商業振興事業(法人15万円、個人事業

中小工商业者の支援策の継続について

担当者、指定管理者とともに検討させていただきたいと答えました。

佐藤美雪議員は、まちなか交流館(指定管理)は、休日高校生等の若い方の利用が多く、エレベーターの前の入口が自転車等でふさがれる状況があるとして、駐輪場の表示等が必要だと提案しました。

まちなか交流館の駐輪場について

やっていただく協議を進めたいとの考えを示しました。

奥州市議会9月定例会決算審査特別委員会は、9月11日から9月20日まで開かれました。今回は9月12日に行われた商工・農林部門での日本共産党の奥州市議団の質疑の概要を紹介します。

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町3丁目59
Tel 24-2021
Fax 24-2049



7万5千円の支援)について、物価高騰が続いており、引き続き実施すべきでないか。②企業誘致策として工業用水への補給金(約1億円)について、県に支援を求めるときだとして提案してきたが、現状がどうなっているか。③創業支援事業について、事業主が高齢になり、子どもや、従業員に継承する際にも対応できる事業が必要でないかと質しました。

担当者は、①約1億5千万円の事業で、奥州市の財源で賄うことは難しいと考えており、国の新たな支援策について注視している。②毎年度、岩手県へ要望している。岩手県は、非常に水を使う半導体関係が多く、全県をカバーすることはできないとの回答。引き続き要望してまいりたい。③事業承継は全国的課題であり、創業支援補助金等を活用して事業継承につなげるという形もあると思うので、その辺も周知をしていきたいと回答しました。



農業部門

「担い手」以外の農家への支援策も考えるべき

支援策も考えるべき

今野裕文議員は、令和5年度の新規就農者の数を尋ね、集落営農組織や生産組織では70歳代が主力で、一方、営農をやめる兼業農家が多くなっている。実態をよくつかんで、何をすべきか考えるべき時でないかと質しました。

担当者は、新規就農者は30人で、稲作を止めた農家は、統計がなく農業センサスによると5年間で2割減少していると想定される。現在の「地域計画」の話し合いを踏まえながら中小農家の支援のあり方も検討してまいりたいと述べるにとどまりました。

土地改良区への電気代高騰への支援策の継続を!

菅原明議員は、①令和5年度行われた土地改良区に対して電気代の支援策の継続について、②鳥獣被害防止対策にかかわり、電気柵等の設置への支援の実態と家庭菜園でも対象にするよう柔軟な対応を求めました。

担当者は、①今年度は仕組みが変わり、国・県で準備していない。現状を確認しながら検討したい。②昨年は9件の申請があり、今年度はすでに10件ほど申請を受け付けている。農作物被害防止のためとしておりすみわけが異なるが、ある程度柔軟に対応したいと答えました。

15日衆院選が公示されました。
日本共産党の政党カーが夕方、奥州入り

15日衆議院選挙が公示され、日本共産党の政党カーが15日夕方奥州入りしました、

午後4時から江刺のサンエー前、同5時から水沢の川端住宅前で金野耕治前労働者後援会長(江刺在住)が、衆議院選挙にあつたての9条を生かした平和外交、中小企業支援とセットの賃上げ、労働時間短縮政策など日本共産党の政策を、迫力をもって訴えました。(写真下:サンエー前、写真右:川端住宅前)

